

財政課より 当初予算概要②

石垣市の家計簿

石垣市の予算額を10万分の1にして、1ヵ月の家計簿に例えてみました。
1ヵ月の収入は、35万2,000円になります。

◎収入 35万2,000円

給料 (市税、交付税、譲与税など)	13万9,140円
実家からの援助 (国庫支出金)	6万4,234円
兄弟からの援助 (県支出金)	5万4,528円
パート収入 (使用料、手数料、財産収入など)	6,419円
銀行からの借入 (市債)	4万4,247円
預金取り崩し (繰入金)	3万8,696円
雑収入 (諸収入など)	4,736円

◎支出 35万2,000円

食費 (普通建設事業費)	9万9,547円
車の購入や家の増改築 (扶助費)	8万2,951円
借金の返済 (人件費)	5万1,372円
衣料・光熱水費 (物件費)	3万7,286円
医療費 (公債費)	2万569円
子どもへの仕送り (繰入金)	2万5,390円
友達への援助 (補助費など)	2万1,936円
預金 (積立金)	1,202円
雑費 (維持補修費、予備費など)	1万1,747円

年間の市民ひとり当たりが受ける行政サービス費と市税負担額

人口(令和元年12月末現在)…4万9,801人 市民ひとり当たりが受ける行政サービス費…70万6,813円
令和2年度市税総額…54億4,984万円 市民ひとり当たりの市税負担額…10万9,432円

目的別科目(予算額)	主な内容	1人当たり	割合
議会費(2億5,033万円)	議会運営のための経費	4,948円	0.7%
総務費(65億9,218万円)	市役所の運営、徴税、選挙事務などの経費	13万2,174円	18.7%
民生費(128億1,927万円)	児童、高齢者、障がい者福祉などの経費	25万7,280円	36.4%
衛生費(24億4,341万円)	市民健康維持やごみ処理などの経費	4万8,770円	6.9%
労働費(1,044万円)	雇用拡大や失業対策などの経費	2,119円	0.0%
農林水産業費(34億4,652万円)	農林漁業の振興を図るための経費	6万9,268円	9.8%
商工費(3億9,243万円)	商工業振興、観光振興のための経費	7,775円	1.1%
土木費(31億4,229万円)	道路、公園など基盤整備の経費	6万2,906円	8.9%
消防費(6億8,230万円)	生命、財産を守り災害を防ぐための経費	1万3,429円	1.9%
教育費(33億1,244万円)	学校教育、生涯学習、文化、スポーツの振興のための経費	6万6,440円	9.4%
公債費(20億5,689万円)	事業を行うため借り入れた市債(借金)の返還金	4万995円	5.8%
予備費(5,150万円)	災害などへ対応するための予備費	709円	0.1%
歳出総額(352億円)		70万6,813円	100%

新規事業の紹介

令和2年度歳出予算のうち、国からの予算等を活用した新規事業を紹介をします。

事業名	事業費(千円)	事業概要
FMラジオ自動起動告知放送システム整備事業	41,293	高齢者等への災害情報の伝達手段として、コミュニティFMと連携した自動起動ラジオ緊急告知放送システムの整備を行う。
子どもの居場所づくりスタートアップ支援	1,830	地域主導の子どもの居場所を設置する際に必要な初期費用と運営事業費を助成する。
石垣市中央運動公園リニューアル事業(沖振交)	14,000	石垣市中央運動公園全体のリニューアル整備に向けた計画策定業務を実施する。
市立小中学校楽器購入事業	29,305	ふるさと納税を活用し、老朽化した小中学校の買い替え及び新規購入を行う。
大浜小学校校舎改修事業	103,691	塩害等により老朽化が著しい大浜小学校校舎の大規模改修工事を実施し、児童等の安全の確保を図る。
防災士養成事業	2,945	地域防災力の強化育成を図るため、本市で防災士研修講座を開催し、一部の費用を助成する。
消防団拠点施設整備事業	7,5343	火災発生から消火活動までの時間短縮を目的に、消防署から比較的距離のある白保地区へ消防団拠点施設及びポンプ車の整備を行う。